

「発達保障のための
相談活動」を広げる
学習講演会

私たちがつくる療育 —— 子どもの生活を バラバラにしてはいけない

2023年

2月26日(日)

10:00~15:30

ZOOM ミーティングによるオンライン学習会

◆子どもの育ちを大切にす実践を

児童福祉法改定やこども家庭庁の新設など、子どもをめぐる政策が大きく動いているときだからこそ遊びや生活を創造していく豊かな療育を創っていこうと、学習講演会を企画しました。母子保健や児童発達支援の関わる方はもちろんのこと、保育所・幼稚園・こども園、学校関係のみなさんご参加ください。職場で誘い合わせて、ぜひ一緒に。

◆「障害者問題研究」の療育の特集で学びます

今回は49巻1号 乳幼児期の発達保障と児童発達支援の課題、50巻2号 乳幼児期の療育と発達保障から一層深く学ぼうという企画です。

【参加方法】 定員 300名

○下のQRコードもしくはURLにアクセス、必要事項を記入してください。

○参加費2,000円(1人あたり)を次の口座に送金してください。手数料はご負担ください。

巢鴨信用金庫 早稲田支店 普通 3103139
特定非営利活動法人 発達保障研究センター
(トクヒ) ハッタツホシヨウケンキュウセンター
*2月21日以降に参加のためのURLと資料を送ります。

申し込み期間

12月1日(木) ~ 2月20日(月)



申込フォームへ

<https://form.run/@2023-0226>



午前の部 10:00~12:00 **学習会=見逃配信予定**

学習会1 障害者問題研究 49巻1号、50巻2号より

児童発達支援を発達保障につなげるために

中村尚子さん(発達保障研究センター)

私たちの職場はどうあるべきなのでしょう。障害児通所支援制度10年を子ども・親、実践者の視点で振り返り、改正児童福祉法施行に向けた課題をとらえ考えます。

学習会2 障害者問題研究 50巻2号より

子どもを笑顔にする療育と保護者の悩みに寄り添う支援

池添 素さん(福祉広場)

「なぜ座って話を聞けないのか」「排せつはどうしたら自立するのか」。そんな悩みにこたえるのに必要なのは椅子やトレーニングではありません。子どもの発達への本当の願いを聴ける療育や保護者支援について考えましょう。

午後の部 13:30~15:30 **分科会**

分科会1 障害者問題研究 49巻1号より

つながりあって療育の質を高めよう

地域づくり 中塚まちいさん(広島・ひかり園)

発達支援の場が増えつづけるからこそ、相互に子ども理解と地域の課題を共有し実践を検討しあうことが求められます。地域全体の療育と連携を高めるために!

分科会2 障害者問題研究 50巻2号より

0、1、2歳からの親子療育

山口雅子さん(鹿児島・りんく)

「気づきの支援」が大事だといわれます。「気づき」を確実に親子への支援につなぐための具体的な手立てを話し合います。

分科会3 障害者問題研究 50巻2号より

障害の重い子どもの主体性を育てる療育

林 美和さん(滋賀・やまびこ園・教室)

意思を表すことの難しい子どもは受身になり、「個別の支援」になりがちではないでしょうか。集団のなかで友だちと過ごす楽しさを子どもたちに!

主催 NPO法人 発達保障研究センター

〒169-0051 新宿区西早稲田 2-15-10
西早稲田関口ビル 全障研気付
発達保障研究センター

問い合わせ npocenter@nginet.or.jp

電話 080-4332-2601 (平日 9時~17時)